

平成 19 年度「油等汚染事故対策水鳥救護研修」実施案内

目的：油等汚染事故発生時に、野生鳥獣保護の観点から迅速かつ的確に対応できるよう、油等に汚染された水鳥の救護等に関する共通認識と技術を習得することを目的とする。

日程：第 1 回鳥獣保護行政担当者向け 平成 19 年 10 月 25 日（木）、26 日（金）
第 2 回現場救護リーダー向け 平成 19 年 12 月 6 日（木）、7 日（金）
第 3 回鳥獣保護行政担当者向け 平成 20 年 2 月 4 日（月）、5 日（火）

内容：以下のような事項に基づき、講義および実習形式で研修を行う。

油等汚染事故における行政の役割対応

油等汚染事故の基礎知識

日本の油等流出事故時の情報体制

水鳥の生態

油汚染鳥の保護法・治療法

油汚染鳥の洗浄法

その他

* 鳥獣保護行政担当者向けと現場救護リーダー向けで内容が若干異なります。

* タイムスケジュール、講義内容は変更する場合があります。

会場：環境省 水鳥救護研修センター研修室 〒191-0041 東京都日野市南平 2-35
TEL042-599-5050 FAX042-599-5051 HP <http://www.hinocatv.ne.jp/~oiled-wb/>

対象：国・地方自治体の鳥獣行政・防災行政担当職員、鳥獣保護センター等職員、獣医師、鳥獣保護員、動物園・水族館職員、水鳥救護に携わる関係者等

定員：1 回あたり 30 名（先着順）

* 申し込みは各開催日の 2 週間前まで。定員になり次第締め切り。

参加費：無料（参加のための交通費、宿泊費等は自己負担）

申込用紙：別紙

申込先：環境省 水鳥救護研修センター

〒191-0041 東京都日野市南平 2-35-2 TEL042-599-5050 FAX042-599-5051

研修運営：特定非営利活動法人 野生動物救護獣医師協会（WRV）

タイムスケジュール

< 鳥獣保護行政担当者向け >

< 1日目 >

- 12:30 ~ 12:35 開会 : NPO 法人野生動物救護獣医師協会
あいさつ 環境省鳥獣保護業務室
- 12:35 ~ 13:10 講義 : 国の油等汚染事故対応 環境省鳥獣保護業務室
(35分)
- 13:20 ~ 14:10 講義 : 都道府県の油等汚染事故対応 NPO 法人野生動物救護獣医師協会
(50分)
- 14:20 ~ 14:50 講義 : 日本の油等流出事故に向けた情報体制 日本環境災害情報センター
(30分)
- 15:10 ~ 17:20 講義 : 油等流出事故の基礎知識 独立行政法人海上災害防止センター
(130分)
- 17:20 ~ 18:00 参加者交流会
(40分)

< 2日目 >

- 9:00 ~ 9:40 講義 : 水鳥の生態 (財) 日本野鳥の会
(40分)
- 9:50 ~ 10:40 講義 : 油汚染鳥の治療法 NPO 法人野生動物救護獣医師協会
(50分)
- 10:50 ~ 12:20 実習 : 油汚染鳥の洗浄法 NPO 法人野生動物救護獣医師協会
(90分) (各班に分かれて実施)
- 12:20 ~ 13:20 昼食
(60分)
- 13:20 ~ 14:10 講義 : 油汚染鳥の救護事例 NPO 法人野生動物救護獣医師協会
(50分)
- 14:20 ~ 14:50 質疑応答、閉会
(30分)

タイムスケジュール

< 現場救護リーダー向け >

< 1日目 >

12:30 ~ 12:40	開会 あいさつ	NPO 法人野生動物救護獣医師協会 環境省自然環境局鳥獣保護業務室
12:40 ~ 15:10	講義：油等流出事故の基礎知識 (140分 休憩 10分)	独立行政法人海上災害防止センター
15:20 ~ 16:50	講義：油汚染鳥の病態 (90分)	NPO 法人野生動物救護獣医師協会
17:00 ~ 17:40	参加者交流 (40分)	

< 2日目 >

9:00 ~ 9:50	講義：都道府県の油等汚染事故対応 (50分)	NPO 法人野生動物救護獣医師協会
10:00 ~ 10:50	講義：油汚染鳥の治療法 (50分)	NPO 法人野生動物救護獣医師協会
11:00 ~ 11:50	講義：油汚染鳥の保護法 (50分)	NPO 法人野生動物救護獣医師協会
11:50 ~ 12:50	昼食 (60分)	
12:50 ~ 14:50	実習：油汚染鳥の洗浄法 (120分) (各班に分かれて実施)	NPO 法人野生動物救護獣医師協会
15:00 ~ 15:30	質疑応答、閉会 (30分)	

平成 19 年度 油等汚染対策水鳥救護研修講義内容

講義内容は鳥獣行政担当者向けと現場救護リーダー向けで若干異なります。

記号の説明	鳥獣行政担当者向け	現場救護リーダー向け
-------	-----------	------------

1. 国の油等汚染事故対策

油流出事故における法体制・事前準備と緊急時対応、NPO やボランティアとの協働及びその養成

2. 油流出事故の基礎知識

油流出事故とは何か、なぜ起きるのか、流出油の性状と経時変化、事故への対応と流出油の防除法

3. 都道府県の油等汚染事故対応

防災ガイドラインやマニュアルへの油事故対応の明記、事前準備、油汚染事故時の各種対応、体制づくり、事後処理、報告

4. 日本の油等流出事故に向けた情報体制

情報収集、連携と体制作り

5. 水鳥の生態

水鳥の種類、生態、生息状況、被害把握等、影響調査の意義

6. 油汚染鳥の治療法()、油汚染鳥の保護法()、油汚染事故事例()

保護から放鳥まで、汚染鳥の状況、優先順位、収容中の飼育管理、傷病鳥の診療

7. 油汚染鳥の病態

病態変化、油汚染が与える影響、付着と摂取の生態への影響、検査の意義、病理解剖

8. 洗浄実習

保定、カルテ記入、一般検査、強制給餌、洗浄と乾燥

鳥獣行政担当者向け 90 分

現場救護リーダー向け 120 分（採血、血液検査を含む）

平成19年度 油等汚染事故対策水鳥救護研修 参加申込書

環境省水鳥救護研修センター
担当 吉見裕子 宛

下記のとおり、第 回(月開催) 油等汚染事故対策水鳥救護研修に
参加を希望いたします。

所属機関・団体名	
住所	
電話	
FAX	
(フリガナ) 参加者氏名	
役職	

申込FAX番号 042-599-5051(水鳥救護研修センター)